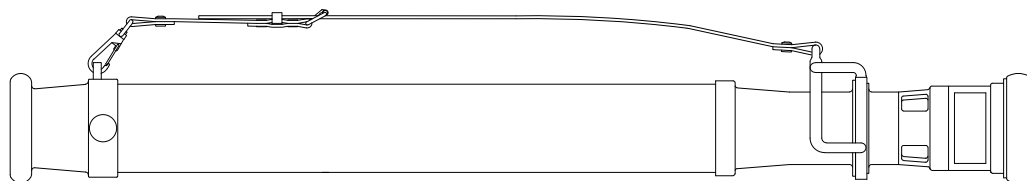


MNPJ001型
MNPJ002型
フォームノズル

ガイドブック



NOHMI

いつでも使用できるように大切に保管してください

MN210

目 次

1. 安全にご使用いただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3/9

2. 概 要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4/9

3. 構 造・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4/9

4. 機 能・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4/9

5. 取り扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4/9

6. 保守点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6/9

7. 耐用年数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7/9

8. 事故・トラブルとその処置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7/9




9. 仕 様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8/9




10. 特 性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9/9

1. 安全にご使用いただくために

- ・ご使用の前にこの「安全にご使用いただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ・ここに示した注意事項は設備を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ・危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分しています。
 - 「危険」：取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うかまたは防災機能に致命的な悪影響を及ぼすことが想定される場合。
 - 「警告」：取り扱いを誤った場合、使用者が重傷や障害を負うかまたは防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼすことが想定される場合。
 - 「注意」：取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負うかまたは防災機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合、及び防災機能を長期にわたって有効に活用する上でぜひ守ってほしい事項。

絵表示の見方

-  左の記号は危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
-  左の記号は禁止の行為を告げるものです。
-  左の記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

 危険	火災時以外に使用しないでください。 本機器は火災時に使用するものです。火災時以外は使用しないでください。
 注意	本ガイドブックをよく読み、正しく安全に使用してください。 手以外では機器を操作しないでください。 機器の操作を手以外で行うと、確実な操作ができない場合や機器を破損することがあります。
 危険	無断で分解・改造をしないでください。 分解および改造すると、機器の破損や所定の性能が得られなくなります。

2. 概要

本機器は、移動式の泡消火設備に用いるフォームノズルです。
本機器 1 次側に泡消火薬剤水溶液を供給することで、ノズル先端から泡が放射されます。

3. 構造

本機器は、ノズルチップ、プロテクター、パイプ、ハンドル、エアーインレット、ミキシングチャンバー、差込継手、背負バンド、ネット (MNPJ001 型のみ) などにより構成されています。

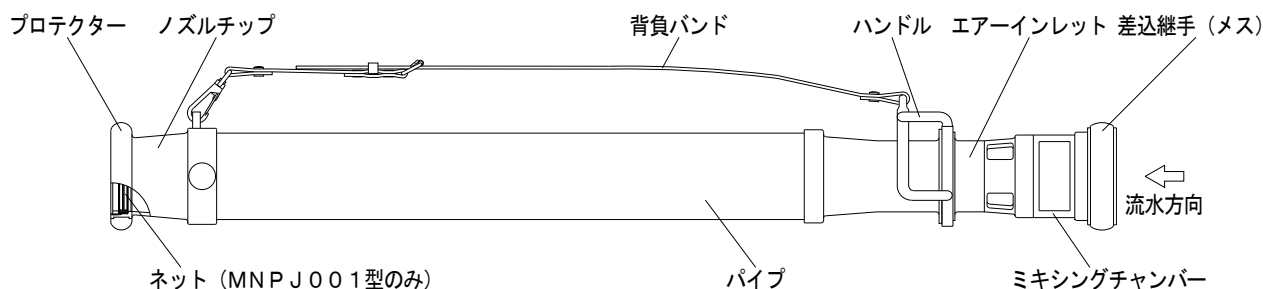


図 1. 機器外観

4. 機能

本機器の 1 次 (差込継手) 側に供給された泡消火薬剤水溶液は、エアーインレットより空気を取り込み、多量の泡を発生させ、ノズル先端 (ノズルチップ) 側より放射されます。

5. 取り扱い

 危険	<p>適用する泡消火薬剤以外は使用しないでください。 所定の性能が得られません。(適用する泡消火薬剤は、9 項 仕様欄を参照してください。)</p>
	<p>適合する接続継手以外は使用しないでください。 適合しない接続継手を使用した場合、フォームノズルと接続できない、泡放射中に接続継手が外れるなど接続継手等が使用者、周囲の人や物に当たり、けがや機器が破損するおそれがあります。 (フォームノズルの接続規格は、9 項 仕様欄を参照してください。)</p>
	<p>変形や損傷した接続継手を使用しないでください。 変形や損傷した接続継手を使用した場合、フォームノズルと接続できない、泡放射中に接続継手が外れるなど接続継手等が使用者、周囲の人や物に当たり、けがや機器が破損するおそれがあります。</p>
	<p>人に向けて放射しないでください。 けがや事故の原因となります。</p>
 注意	<p>ノズル内部に異物詰まりがある場合は、速やかに取り除いてください。 ノズル内部にゴミなどの異物が詰まると、所定の性能が得られません。</p>
	<p>泡消火薬剤が目に入ったり、皮膚に付着した場合は、速やかに水道水でよく洗い流してください。 目や皮膚に痛み、違和感、異常を感じた場合は、医師の診断を受けてください。</p>

(1)泡放射時の取り扱い

- ①フォームノズルの差込継手に消防用ホースを差し込み、しっかりと接続してください。
 (フォームノズルに常時消防用ホースが接続されている場合は正しく接続されていることを確認してください。) 【図2参照】

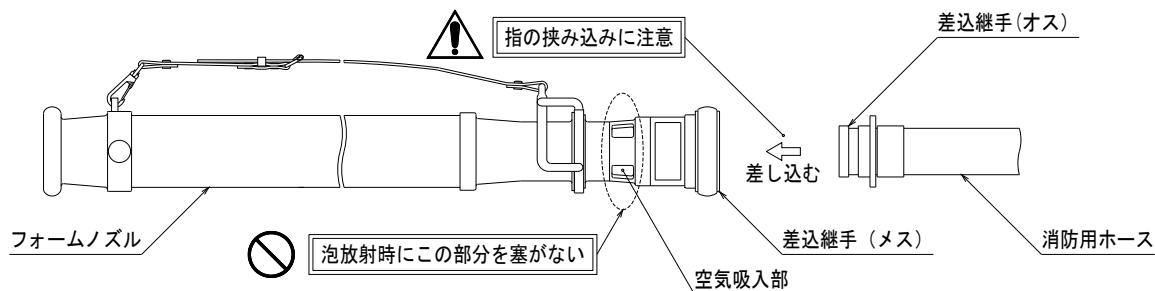






図 2. 消防用ホースの接続方法

 警告	<p>フォームノズルと消防用ホースの接続は確実に行ってください。 接続が不十分な場合、泡が正常に放射できない、泡放射中に消防用ホースが外れるなど消防用ホースが使用者、周囲の人や物に当たり、けがや機器が破損するおそれがあります。</p>
 注意	<p>消防用ホースの接続および取り外しの際は、指の挟み込みに注意してください。 消防用ホースとフォームノズルの接続および取り外しの際は、差込継手（オス）のリングとフォームノズルの間に指などを挟まないように注意してください。けがの原因となります。</p>

- ②所定のバルブ等を開放し、3%（3～4%）濃度の泡消火薬剤水溶液をフォームノズルへ規定圧力範囲（0.35～0.6MPa）で供給してください。
- ③フォームノズルより多量の泡が放射されますので、消火対象物へ放射してください。

 警告	<p>泡放射時は、フォームノズルをしっかりと持ってください。 泡放射時は、フォームノズルに放射反力が掛るため、しっかりと持ってください。けがをしますおそれがあります。</p>
 危険	<p>泡放射時は空気吸入部を塞がないようにしてください。 泡が正常に放射されません。</p>

(2)泡放射後の取り扱い

- ①所定のバルブ等を閉止し、フォームノズルへの泡消火薬剤水溶液の供給を停止してください。
- ②フォームノズルを消防用ホースから外してください。
(消防用ホース側の差込継手(オス)のリングをフォームノズル側に強く押すと外れます。)

【図3参照】

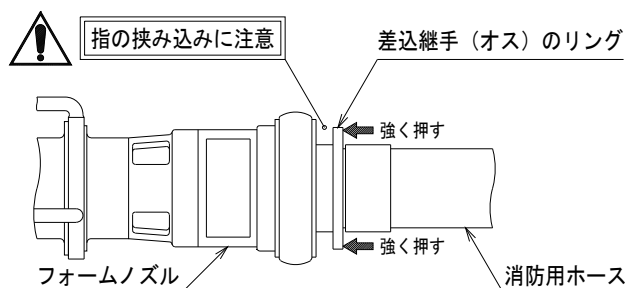




図3. フォームノズルの外し方

- ③フォームノズルを水洗いし、しっかりと乾燥させてください。
(同時に消防用ホースの水洗いおよび乾燥を行うことも推奨いたします。)
- ④所定の格納箱等に格納してください。
- ⑤放射した泡を処理してください。なお、処理方法は使用する泡消火薬剤の安全データシート(SDS)を参照し、必要に応じて消防設備業者または点検業者などにご相談ください。

 注意	火災時に泡放射した後は、消防機関などによる消火および安全確認をしてください。
	泡が付着した機器や設備などは、水などで速やかに洗い流してください。 付着した泡を放置すると、腐食などの原因となります。
 危険	泡は絶対に口に入れないでください。 泡を被った食物は絶対に口に入れないでください。

6. 保守点検


機器の機能を保持するため、定期的な機器点検および総合点検を関連法規に従い実施してください。

- 機器点検：構成機器の変形・損傷・異常の有無
- 総合点検：泡消火設備全体でのシステム総合試験

また、日常点検として以下の外観点検を定期的の実施してください。

日常点検内容	不具合時の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・構成部品の変形, 損傷, 著しい腐食がないこと。 ・構成部品の取り付けやネジ部等にゆるみがないこと。 ・機器銘板の表示事項が判読できること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部品交換 ・増し締め

※点検や修理等が必要な場合は、消防設備業者または点検業者などにご相談ください。

 注意	点検時に異常があった場合は、速やかに調査し、修理・交換などの適切な処置を行ってください。 異常を放置すると、所定の性能が得られません。
-------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------


7. 耐用年数

本機器の耐用年数および定期交換推奨部品は次の通りです。なお、耐用年数および定期交換推奨部品の推奨交換時期は設置環境、使用状況などの影響を受けるため、あくまで目安であり、その期間を保証するものではありません。

(1)耐用年数：設置後 約 20 年

(2)定期交換推奨部品

対象構成部品	推奨交換時期	定期交換推奨部品
差込継手	設置後 約 10 年	袋パッキン

 警告	<p>機器一式および定期交換推奨部品の交換は、耐用年数および推奨交換時期を目安に交換することを推奨します。</p> <p>経年劣化により、所定の性能が得られない場合があります。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

8. 事故・トラブルとその処置

機器の異常を発見した場合には、次表を参考に処置してください。

なお、表中の考えられる原因は代表例であり、考えられるすべての原因を示すものではありません。

現象	考えられる原因	処置・対策
規定の流量が得られない	ノズル内部やネット (MNPJ001 型のみ) にゴミ等の異物がある。	ゴミ等の異物を取り除いてください。
規定の発泡倍率や 25% 還元時間が得られない	使用圧力範囲外で機器を使用している。	使用圧力範囲内 (0.35~0.6MPa) で使用してください。
	適正濃度の泡消火薬剤水溶液を供給していない。	適正濃度 (3~4%) の泡消火薬剤水溶液を供給してください。
	適用泡消火薬剤を使用していない。	適用泡消火薬剤を使用してください。 (9 項仕様欄を参照してください)
	ノズル内部やネット (MNPJ001 型のみ) にゴミ等の異物がある。	ゴミ等の異物を取り除いてください。
規定の射程が得られない	ネットが破損している。	ネットを交換する必要があります。 弊社にご相談ください。
	ノズル内部やネット (MNPJ001 型のみ) にゴミ等の異物がある。	ゴミ等の異物を取り除いてください。
差込継手部から漏れがある	使用圧力範囲外で機器を使用している。	使用圧力範囲内 (0.35~0.6MPa) で使用してください。
	袋パッキンにゴミ等の異物がある。	ゴミ等の異物を取り除いてください。 袋パッキンを交換してください。
	袋パッキンが破損している。	袋パッキンを交換してください。

9. 仕 様

(1)MNPJ001 型フォームノズル

型 式 名 称		MNPJ001	
標準放射圧力		0.35 MPa (使用圧力範囲 : 0.35~0.6MPa)	
標準放射流量		400 L/min	
射 程		16 m 以上 (無風時)	
発 泡 倍 率		5 倍 以上	
25%還元時間		60 秒 以上	
接 続 継 手		差込継手 65A, メス	
適 用 泡 消 火 薬 剤 (3% 混 合)	た ん 白	スノーラップFP-3	【泡第19~6号】
		スノーラップFP3-30	【泡第19~21号】
	た ん 白 (耐アルコール用)	DKアルコフォーム(3-3)	【泡第13~3号】
質 量		約 4 kg	

(2)MNPJ002 型フォームノズル

型 式 名 称		MNPJ002	
標準放射圧力		0.35 MPa (使用圧力範囲 : 0.35~0.6MPa)	
標準放射流量		400 L/min	
射 程		24 m 以上 (無風時) [メガフォームAGF-3TSの場合は22m以上(無風時)]	
発 泡 倍 率		5 倍 以上	
25%還元時間		60 秒 以上 (水成膜), 30 秒 以上 (合成界面活性剤)	
接 続 継 手		差込継手 65A, メス	
適 用 泡 消 火 薬 剤 (3% 混 合)	合成界面活性剤	スノーラップSD	【泡第19~20号】
	合成界面活性剤 (耐アルコール用)	メガフォームAGF-3T	【泡第21~4号】
	水 成 膜	メガフォームF-623T	【泡第17~3号】
		メガフォームF-633T	【泡第15~3号】
	水 成 膜 (耐アルコール用)	メガフォームAGF-3TS	【泡第25~4号】
質 量		約 4 kg	

10. 特性

压力—流量 特性

